

脳卒中後のリハビリテーションのため、当院に入院・通院された 患者さんのカルテを用いた医学系研究に対するご協力のお願い

研究責任者 所属 看護科 職名 看護師
氏名 小林 由佳
連絡先電話番号 047-453-9014

実務責任者 所属 看護科 職名 看護師
氏名 小林 由佳
連絡先電話番号 047-453-9014

このたび当院では、上記のご病気で入院・通院された患者様のカルテを用いた下記の臨床研究を、当院倫理審査会の承認ならびに病院長の許可のもと、倫理指針および法令を遵守して実施しますので、ご協力をお願いいたします。

この研究を実施することによる、患者様への新たな負担は一切ありません。また患者さんのプライバシー保護については最善を尽くします。

本研究への協力を望まれない患者様は、その旨を「8 お問い合わせ」に示しました連絡先までお申し出下さいますようお願いいたします。

1 対象となる方

2018年4月1日より2019年9月30日までの間に、当院2階病棟にて脳卒中後のリハビリテーションのため入院し、内服自己管理指導を受けた方

2 研究課題名

承認番号 236-2

研究課題名 退院後に独居となる脳卒中患者の内服自己管理自立への関わり方の検討

3 研究実施機関

東京湾岸リハビリテーション病院 (研究責任者：小林由佳)

4 本研究の意義、目的、方法

独居の脳卒中患者が在宅復帰をするうえで、高血圧や糖尿病などの基礎疾患をもつ患者にとって内服自己管理の自立はとても重要となってきます。効果的な看護師の介入が明らかになる事で、退院後に独居となる脳卒中患者の内服自己管理の自立を促す援助方法に示唆を得ると考えました。

そこで、入院中に看護師が介入することで内服自己管理ができるようになった事例を通して内服自己管理の自立を促す要因を明らかにすることを目的としました。方法としては退院後独居となった脳卒中患者10名を対象にカルテから情報収集し量的分析を行います。また、内服自己管理に介入した看護師へそれぞれインタビューし質的分析を行います。研究結果については回復期リハビリテーション学会にて発表し今後の内服自己管理の自立へ向けての介入に役立てていきます。

5 協力をお願いする内容

内服自己管理の状況を確認するにあたり、患者様のカルテを閲覧させていただきます。患者様が直接新たに何かをしていただくことはありません。

ご了承いただきますようお願いいたします。

6 本研究の実施期間

西暦2020年2月1日～2020年3月30日

7 プライバシーの保護について

- 1) 本研究で取り扱う患者さんの個人情報、氏名および患者番号などの情報はコード化し個人が特定できないよう取り扱います。その他の個人を特定する情報（住所、電話番号など）は一切取り扱いません。
- 2) 本研究で取り扱う患者さんのカルテの内容は、氏名のコード化により第三者にはどなたのものか一切わからない形で使用します。
- 3) 得られた情報は研究者作成のデータベースに保存され、本研究の個人情報管理者が研究終了まで厳重に管理し、研究の実施に必要な場合のみに参照します。また研究計画書に記載された所定の時点で完全に抹消し、破棄します。

8 お問い合わせ

本研究に関する質問や確認のご依頼は、下記へご連絡下さい。

また本研究の対象となる方またはその代理人（ご本人より本研究に関する委任を受けた方など）より、【カルテ使用】の停止を求める旨のお申し出があった場合は、研究が開始された後でも適切な措置を行いますので、その場合も下記へのご連絡をお願いいたします。

【対応者の氏名・所属・連絡先】

東京湾岸リハビリテーション病院 2階病棟 小林由佳

電話：047-453-9000 FAX:047-453-9002

Eメール:2f-tbr@wanreha.net

以上